

AXIS D4200-VE Network Strobe Speaker

パワフルなオールインワンストロボ&スピーカー

ストロボライトとスピーカーを搭載した多目的オーディオ・ビジュアル信号デバイス。録音音声やライブ音声、アラーム音、ビジュアルコミュニケーション、またはこれらの組み合わせのカスタマイズが可能です。ゾーン管理、コンテンツのスケジュールと必要に応じた供給を可能にし、AXIS Audio Managerをサポートします。AXIS Audio Analyticsのサポートにより、音声を検知してアラートをトリガーすることができます。この屋外対応デバイスは、設置、設定、メンテナンスをコスト効率よく行うことができます。VAPIX、SIPS、MQTT、またはI/Oを通じて、数多くの統合の可能性があります。また、ヘルスチェックのスケジュールによってコストを削減できます。さらに、PoE Class 4で他のデバイスに電力を転送することもできます。

- > 複数のLEDカラーとカスタム音声
- > 双方向音声内蔵スピーカー
- > AXIS Audio Managerサポート
- > PoE出力による追加デバイスへの給電
- > IP66、NEMA 4XおよびIK09の各規格に準拠

**SIP**

Registered ID: 202505020000244
Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

AXIS D4200-VE Network Strobe Speaker

照明

LED照明

赤、緑、青、橙、白、ピンク、紫、青緑、黄
最大732 lm (PoE Class 4) / 190 lm (PoE Class 3)

音声ハードウェア

エンクロージャー

密閉エンクロージャーに3インチ同軸ダイナミック
コーンスピーカーを収容

最大音圧レベル

102 dB

周波数応答

365 Hz - 14 kHz

指向特性

140° 同軸

入出力

内蔵マイクロフォン (無効設定可)

内蔵スピーカー

外部マイクロフォン、ライン入力

内蔵マイクロフォンの仕様

20 Hz~20 kHz

アンプの説明

内蔵型7 WクラスDアンプ

デジタル信号処理

内蔵および事前設定済み

音声管理

AXIS Audio Manager Edge

内蔵機能:

- 最大200台のスピーカーを20のゾーンに分割できるゾーン管理。
 - 音楽およびライブ/事前録音されたアナウンスのコンテンツ管理。
 - コンテンツをいつ、どこで再生するかを決定するスケジューリング。
 - 緊急メッセージがスケジュールに割り込むようにするコンテンツの優先順位付け。
 - システムエラーのリモート検知のための健全性監視。
 - どの機能にどのユーザーがアクセスできるかを制御するユーザー管理。
- 詳細については、axis.com/products/axis-audio-manager-edge/supportのデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Pro

AXIS AudioManager Pro 4.8以降に対応
より大規模で高度なシステム向け。別売。仕様については、別紙のデータシートを参照してください。
仕様については、axis.com/products/axis-audio-manager-pro/supportのデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Center

AXIS Audio Manager Centerは、マルチサイトシステムのリモートアクセスと管理のためのクラウドサービスです。
仕様については、axis.com/products/axis-audio-manager-center/supportのデータシートを参照してください

音声ソフトウェア

ストリーミング

設定可能な通信方式:双方向 (全二重)

エコーキャンセル (半二重)

エンコーディング

AAC LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726

ADPCM 8 kHz、Axis μ -law 16 kHz、WAV、

MP3 (64 kbps~320 kbps、モノラル/ステレオ)

固定/可変ビットレート、

サンプリングレート 8 kHz~48 kHz、

Opus

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX®、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.com/developer-communityを参照)

One-Click Cloud Connection (ワンクリッククラウド接続)。

ビデオ管理システム

AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、およびaxis.com/vmsで入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

大量通知

Singlewire InformaCast®、Intrado Revolution、Lynx、Alertus

統合通信

検証済みの互換性:

SIPクライアント: 2N、Yealink、Cisco、Linnphone、Grandstream

PBX/SIPサーバー: Cisco Call Manager、Cisco BroadWorks、Avaya、Asterix、Grandstream

クラウドサービスプロバイダー: Webex、Zoom

SIP

サポート対象SIP機能: セカンダリSIPサーバー、IPv6、SRTP、SIPS、SIP TLS、DTMF (RFC2976およびRFC2833)、NAT (ICE、STUN、TURN)

RFC 3261: INVITE、CANCEL、BYE、REGISTER、OPTIONS、INFO
DTMF (RFC 4733/RFC 2833)

イベント条件

音声: 音声クリップ再生、スピーカーテスト結果

呼び出し: DTMF、状態、状態変化

装置ステータス: 動作温度範囲外/範囲内、ケーシング開放、IPアドレスのブロック、IPアドレス削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新規IPアドレス、リングパワー過電流保護、システムの準備完了、動作温度範囲内

デジタル音声: 信号ステータス

エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知

I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力

ライトとサイレン: ヘルスステータス

MQTT: クライアント接続、ステートレス

スケジュール、繰り返し: スケジュール

イベントアクション

音声: 自動スピーカーテストの実行

音声クリップ: 再生、停止、

呼び出し: SIP呼び出し

I/O: トグル

LED: フラッシュステータス

ライトとサイレン: 実行、停止、ヘルスチェック実行

MQTT: パブリッシュ

通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール

録画: 音声の録音

セキュリティ: 設定の消去

SNMPトラップ: 送信

機能モニタリング

スピーカーテスト (内蔵マイクロフォンによる検証)

分析機能

アプリケーション

含まれるもの

AXIS Audio Analytics

サポート

AXIS Camera Application Platformに対応し、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (axis.com/acapを参照)

AXIS Audio Analytics

機能: 適応音声検知、音声分類

音声クラス: 咳発作、ガラスの割れる音、人の存在、悲鳴、怒鳴り声、会話

イベントメタデータ: 音声検知、分類

認証

製品のマーキング

UL/cUL、CE、KC、VCCI、RCM

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

CISPR 32 Class A、CISPR 35、EN 55035、EN 55032 Class A、EN 50121-4、EN 50130-4、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2

オーストラリア/ニュージーランド:

RCM AS/NZS CISPR 32 Class A

カナダ: ICES(A)/NMB(A)

日本: VCCI Class A

韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A

米国: FCC Part 15 Subpart B Class A

鉄道: IEC 62236-4

安全性

CAN/CSA C22.2 No. 62368-1 ed. 3、

IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、IEC/EN 62471 risk group 1

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP66、IEC/EN 62262 IK09、NEMA 250 Type 4X、MIL-STD-810H (Method 501.7、502.7、506.6、507.6)

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS 140

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS⁽¹⁾、HTTP/2、TLS⁽¹⁾、QoS Layer 3 DiffServ、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、PTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、ローカルリンクアドレス (設定不要)

1. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptosoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC 6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール (FIPS 140-2レベル1)
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアキーストア: セキュアエレメント (CC EAL6+, FIPS 140-3 レベル3)、システムオンチップセキュリティ (TEE)
AxisデバイスID、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)⁽²⁾、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS⁽²⁾、TLS v1.2/v1.3⁽²⁾、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化

AXIS OS/ハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axis Security Development Model

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

システムオンチップ (SoC)

モデル

i.MX 8M Nano

メモリー

RAM 1 GB、フラッシュ1 GB

概要

ケーシング

IP66、NEMA 4XおよびIK09の各規格に準拠
アルミニウム/プラスチック製ケース
カラー: 白NCS S 1002-B

取付

ジャンクションボックス穴付き (ダブルギャング、シングルギャング、4インチ四角形、ジャンクションボックス、4インチ八角形)、壁面または天井用取り付けブラケット
3/4インチ (M25) コンジット穴 (側面)

電源

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at Type 2

Class 4、標準3.55 W、最大25.5 W

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3bt Type 3 Class 6 (最大51 W)、PoE出力に必要)

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at Type 2 Class 4 (30 W)、2つ目のデバイス用

機能: 電力メーター

コネクター

ネットワーク: シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE、

シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE、外部PoE装置への出力用

I/O: 2つの設定可能な監視入力/デジタル出力用4ピン 2.5mmターミナルブロック (12 V DC出力、最大負荷 50 mA)

音声: 3.5 mmマイク/ライン入力

ストレージ

microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応

SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)

NAS (Network Attached Storage) への録画

推奨されるSDカードとNASについては、axis.comを参照

動作温度

温度: -40 ° C ~ 55 ° C (-40 ° F ~ 122 ° F)

最高温度 (断続的): 60 ° C

起動温度: -40 ° C

湿度: 10 ~ 100% RH (結露可)

保管条件

温度: -40 ° C ~ 65 ° C (-40 ° F ~ 149 ° F)

湿度: 5 ~ 95% RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量

1500 g (3.3 lb)

パッケージ内容

ネットワークストロボスピーカー、インストールガイド、ターミナルブロックコネクター、コネクターガード、ケーブルガセット、所有者認証キー

オプションアクセサリ

AXIS TD4301-E Angle Mount

AXIS TD4802-E Weathershield

AXIS Surveillance Card

その他のアクセサリについては、axis.com/products/axis-d4200-ve#accessoriesを参照

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクトター、アクセサリセレクトター
axis.comで入手可能

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号

axis.com/products/axis-d4200-ve#part-numbersで入手可能

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)

RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび2015/863

EN、規格IEC 63000:2018に準拠

REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照

材料

再生可能な炭素系プラスチックの含有率:65% (バイオ系:53%、回収炭素系:12%)

OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み

Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility

Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

注目の機能

AXIS Audio Analytics

AXIS Audio Analyticsは、適応音声検知機能を使用して、音量が急に大きくなった場合にアラームを発生させます。AIベースの分類機能により、悲鳴や叫び声を検知できます。また、AXIS Audio Analyticsとビデオ分析機能を組み合わせることで、さらに確認することもできます。このスマートなアプリケーションはメタデータのみを送信するため、プライバシーが確実に保護されます。AXIS OSのコア機能であるAXIS Audio Analyticsは、追加費用なしでプリインストールされています。

AXIS Audio Manager Edge

AXIS Audio Manager Edgeは、Axisネットワークスピーカーに組み込まれているソフトウェア管理システムです。これにより、ローカルサイトの音声システムを管理および制御することができます。AXIS Audio Manager Edgeは、比較的単純なニーズを持つ小規模から中規模のサイトに適しています。

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用する暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

詳細については、[axis.com/glossary](https://www.axis.com/glossary)を参照してください。